



2025年2月12日

各位

会社名	株式会社 Photosynth
代表者名	代表取締役社長 河瀬 航大 (コード番号：4379 東証グロース)
問い合わせ先	執行役員経営管理部長 村上 航一 TEL. 03-6630-4585

**繰延税金資産及び特別損失の計上
並びに通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ**

当社は、2024年12月期において、下記の通り、繰延税金資産及び特別損失を計上しました。また、2024年11月11日に公表した2024年12月期通期連結業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせします。

記

1. 繰延税金資産の計上について

当社は、2024年12月期及び今後の業績動向等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、2024年12月期において、繰延税金資産を計上し、法人税等調整額(△は利益)を△119百万円計上しました。

2. 特別損失(固定資産の減損損失)の計上について

当社の連結子会社である株式会社 MIWA Akerun Technologies の所有する有形固定資産及び無形固定資産について減損の兆候が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく回収可能性を検討した結果、減損損失153百万円を計上しました。

3. 特別損失(固定資産除却損)の計上について

当社の制作した自社利用ソフトウェアである特定用途向け Web 管理ツールについて、特定利用先の契約終了に伴い、将来の利用も見込まれないことから、当該ソフトウェアについて固定資産除却損41百万円を計上しました。

4. 特別損失(関係会社株式評価損)の計上について

当社の連結子会社である株式会社 MIWA Akerun Technologies の株式について、株式の実質価値が著しく低下したため「金融商品に関する会計基準」に基づき減損処理を行い、個別決算において関係会社株式評価損279百万円を計上しました。

当該関係会社株式評価損は、連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

5. 業績に与える影響について

上記の計上につきましては、本日公表の「2024年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

6. 2024年12月期（2024年1月1日～2024年12月31日）の連結業績予想と実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,950	百万円 60	百万円 70	百万円 110	円 銭 7.08
実績値 (B)	2,961	76	91	155	9.98
増減額 (B-A)	11	16	21	45	
増減率 (%)	0.39%	27.23%	30.02%	41.13%	
(参考)前期実績 (2023年12月期)	2,493	△221	△222	△175	△11.30

7. 差異の理由

①経常利益の差異について

主力サービスである「Akerun 入退室管理システム」の新規顧客及び既存顧客における導入が堅調に推移し、また7月から本格展開しているギグワーカープラットフォームを活用した施設運営 BPaaS 事業「Migakun (ミガクン)」も堅調に事業を拡大したことで、売上高が前回発表予想を上回る水準での着地となりました。また、管理部門における各種コストの効率化等による販売費及び一般管理費の抑制や、助成金収入の計上により、経常利益は前回発表予想を上回る着地となりました。

②親会社株主に帰属する当期純利益の差異について

経常利益の差異の影響、および上記繰延税金資産（法人税等調整額）及び特別損失の計上の影響により、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を上回る着地となりました。

以上